

# ブロッコリー（夏播き秋収穫）

## 品種

**おはよう（サカタ）**：播種後 95 日前後で収穫できる中早生品種。小粒で濃緑色の極ドーム型で、花蕾形状の安定性が高く茎空洞症も少ない品種です。

**ハイツ SP（タキイ）**：耐暑性に優れ、強勢で作りやすい中早生種！また側枝が多く発生するので 12 月まで収穫することも可能です。



## 作型の例

(◆ は種 ← 定植 ● 収穫)

月 作型	7月	8月	9月	10月	11月	12月
夏播き	◆	◆ ←				
秋収穫				●	●	

## 定植

- 本葉 4~6 枚が定植の目安です。
- 排水の良い、高畝の圃場で定植しましょう。
- 定植時期が高温時なので、夕方涼しくなってから行いましょう。

## 追肥

- 基肥を主体とし、生育半ばまでは肥料切れしないように追肥を施します。1回目は着生した頃、2回目は発芽時にあります。追肥は発芽までとし、同時に土寄せも行いましょう。

## 害虫防除

- ブロッコリーなどのアブラナ科は害虫の被害を受けやすいので、定植後は寒冷紗で害虫の侵入を防いだり、花蕾を付ける前には農薬防除を心がけましょう。

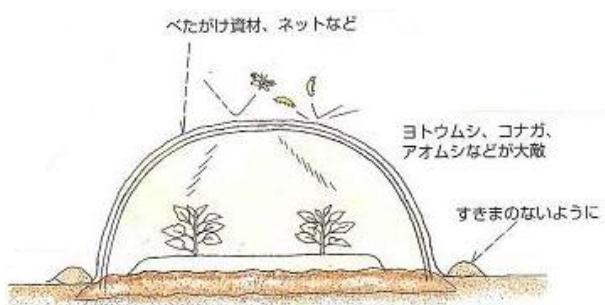
## 収穫

- 花蕾の直径が 10~15cm を目安に収穫を行います。収穫が遅れると、花蕾が開いて軟らかくなるなど品質が低下するので、注意しましょう。

## 施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥
たかおか堆肥	200	
苦土石灰	15	
よう磷	4	
やさい良好 15 号	10	
やさい磷加安 S540		3 3



## 栽培のポイント

- ブロッコリーは大きく充実した花蕾をとるためには、茎葉を大きくすることが大切です。肥料切れにならないように、基肥を十分に与えましょう。
- 虫害や風害による葉の損傷を防ぐため、定植後に寒冷紗などの資材で予防しましょう。